



こんにちは日本共産党です
八千代市議団ニュース

堀口 明子 ☎047-752-0453 植田 進 ☎047-487-9754
 伊原 忠 ☎047-488-7207 飯川英樹 ☎080-1239-8132

ホームページへ▶



市議団ホームページ <http://jcp-yachiyo.jp/>

共産党控室メール kyousan@city.yachiyo.chiba.jp

第398号

2019年2月25日

発行

日本共産党

八千代市議会議員団

八千代市大和田新田

312-5

団地住民の運動で米本南小学校が存続へ

2月19日、教育委員会は阿蘇・米本地域の小中学校4校を阿蘇中学校に統合する小中一貫校の計画を変更する内容を発表しました。

変更内容は、米本南小学校に阿蘇小学校、米本小学校を集める小学校の3校統合です。このことにより、これまで米本団地に学校を残してほしいという住民の運動が教育委員会を動かしました。



しかし、3校統合では阿蘇地域の保護者や地域の方々の声は届いていません。今回の変更内容に教育委員会は「保護者の方々の不安の声があり」とありましたが、不安の声には通学路の問題があります。

米本地域から阿蘇中学校に行く通学路の不安と同様に、阿蘇地域の子どもたちが米本南小学校に通うのにも遠いし、危険は伴います。小学校区の地域の方々のこれまでの見守りやコミュニティを生かし、阿蘇小学校は残すべきです。

「答申」を無視して進めた小中一貫校

今回教育委員会の変更には矛盾があります。まず、「小中一貫校の一体型をやめて、分離校型にする」という点で、小中一貫校そのものが答申に則っているというが、答申では「将来的に」というものであったはずです。

その「将来的に」と書かれていた点を省略して説明していました。また一体型、分離型ということの説明もこれまで全くなかったにもかかわらず、突然出された言葉です。

今後義務教育学校はつくりないと明言

さらに「つくば市を視察して研究してきた」と言いますが、つくば市の教育方針や自治体規模などが八千代市の方針と何が合致しているか？ 全く説明もなくいきなり発表されています。しかもつくば市では、今後義務教育学校（小中一貫校）はつくりないと明言しています。

特に問題なのは説明会の中で、教育の公平性に欠けるような発言もありました。「英語特区」「学力向上重点区」と、特別を意識した発言が続きますが、市内の子どもたちすべてに行き届いた教育が求められており、公平性に欠けています。

学校教育は学力だけではなく、人を育てていくところです。学力向上だけを特出しては民間の塾と何ら変わりはありません。3月議会でも引き続き追及していきます。